

20 沿革

1) 恵那市の概要

位置・地勢

本市は、岐阜県の南東部に位置し、東は中津川市、長野県（平谷村・根羽村）、西は瑞浪市、南は愛知県（豊田市）、北は加茂郡八百津町・白川町に接しています。

市域は、東西32km、南北36km、面積は504.24km²で、その約78%を山林が占めています。海拔は179mから1,709mで、市北部には笠置山、南東部には焼山をはじめとして標高800mから1,200m前後の山々が連なり、市街地の北部を木曾の御岳を源とする木曾川が、また南部には長野・岐阜・愛知の3県を流れる矢作川があり、美しい山や川に囲まれています。

気候は、太平洋気象の影響を受ける準内陸型の気候です。夏季の気温差が比較的大きく、冬季は寒さがやや厳しくて、降雪量は少量。年間を通じて比較的安定した気候です。

沿革

平成16年10月25日、恵那市、恵那郡岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町の1市4町1村が新設合併し、現在の恵那市となりました。

合併前の状況は、次の通りです。

| | |
|-------|------------------------|
| 旧恵那市 | 昭和29年／2町6村が合併し、旧恵那市が誕生 |
| 旧岩村町 | 昭和29年／1町1村が合併し、旧岩村町が誕生 |
| 旧山岡町 | 昭和30年／2村が合併し、旧山岡町が誕生 |
| 旧明智町 | 昭和30年／1町2村が合併し、旧明智町が誕生 |
| 旧串原村 | 明治22年／村制を施行し、旧串原村が誕生 |
| 旧上矢作町 | 昭和31年／2村が合併し、旧上矢作町が誕生 |

20 沿革

2) 合併までの経緯

| 時 期 | 事 項 |
|---|--|
| 平成14年 5月16日 6月4日 | 「えな郡南部地域合併問題検討会議」が恵那市へ合併協議申し入れ 恵那市、岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町の6市町村で 「恵那市・恵南町村合併検討協議会（任意協議会）」を設置 |
| 平成15年 1月16日 1月21日 2月3日 2月19日 3月 9月26日～10月31日 | 第8回任意協議会において、基本5項目、議会議員及び一般職職員の 取扱について確認し、法定協議会の設立に合意 6市町村議会において、法定協議会設置議案を議決 恵那市・恵南町村合併協議会（法定協議会）規約が施行、事務局設置 第1回合併協議会開催 以後、原則として会場を恵那市恵南町村交互に開催 「新市まちづくり計画」作成のためのアンケート実施 住民説明会を19会場で開催 |
| 平成16年 4月6日～4月26日 4月28日 5月10日 5月12日 7月8日 7月26日 10月13日 10月25日 | 住民説明会を15会場で開催 合併協定調印式 6市町村議会において合併に関する議案を議決 岐阜県へ廃置分合申請書を提出 岐阜県議会で廃置分合議案を議決 総務大臣により6市町村の廃置分合が告示 第25回合併協議会（最終）開催 新恵那市誕生 |

20 沿革

3) 恵那市のあゆみ

| 時 期 | 事 項 |
|---------------------------------|---|
| 平成16年 10月 11月 | 恵那市、岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町が合併、新「恵那市」誕生 初代市長に可知義明氏が就任 |
| 平成17年 1月 10月 12月 | 地域自治区の条例を制定 市の花「ササユリ」、市の木「ハナノキ」を制定 火葬場「えな斎苑」が完成 「岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場」がオープン |
| 平成18年 4月 12月 | 「恵那市総合計画」、「恵那市行財政改革大綱」が始まる 岩村城が「日本百名城」に認定される 山岡細寒天が地域ブランドに認定される |
| 平成19年 4月 7月 10月 | ケーブルテレビが開局 恵那南高等学校が開校 「恵那市中央図書館」がオープン 上矢作町に県下初の風力発電施設が誕生 恵那市女性消防隊が全国女性消防操法大会で優勝 |
| 平成20年 1月 3月 11月 12月 | 「こども元気プラザ」がオープン 伊藤喜美氏の名誉市民推挙式 日本大正村で「日本三村サミット」を開催 明知鉄道「極楽駅」が開業 |
| 平成21年 3月 10月 11月 | 恵那市防災センターの運用開始 「嚶鳴フォーラムin恵那 市長サミット」を開催 「市制5周年記念式典」を開催 |

20 沿革

| 西 暦 | 事 項 |
|-------|--|
| 平成22年 | |
| 7月 | 恵那テクノパーク第3期拡張工事が完成 |
| 9月 | 「えなてらす」がオープン |
| 平成23年 | |
| 4月 | 「三学のまち恵那」を宣言 「恵那市総合計画 後期計画」、「恵那市第2次行財政改革大綱」が始まる |
| 6月 | JR東海がリニア中央新幹線の県内中央駅を中津川市と発表 |
| 7月 | 「大正百年記念式典」を開催 |
| 9月 | 豪雨により、中野方町に初めて避難勧告が出される |
| 12月 | 静岡県掛川市と災害時相互応援協定を締結 |
| 平成24年 | |
| 1月 | 「ぎふ清流国体 スピードスケート競技」が開催される |
| 2月 | 静岡県伊豆市と災害時相互応援協定を締結 |
| 4月 | 「ふれあいエコプラザ」がオープン |
| 6月 | 「リニアまちづくり構想市民委員会」を設置 |
| 10月 | 「ぎふ清流国体 弓道競技」が開催される |
| 平成25年 | |
| 6月 | 嚶鳴協議会で災害時相互応援協定を締結 |
| 11月 | 国道19号恵那－中津川間の4車線化が完成 |
| 平成26年 | |
| 3月 | 吉田小学校が閉校し、明智小学校と統合 |
| 9月 | 「恵那市こども園設置条例」が可決 |
| 10月 | 「市制10周年記念式典」を開催 市公式キャラクター「エーナ」を発表 |
| 11月 | 市役所西庁舎が竣工 |
| 平成27年 | |
| 3月 | 中野方町こども園が完成、市内16園で幼保連携型認定こども園がスタート |
| 5月 | 日本大正村3代目村長に竹下景子さんが就任 |

20 沿革

| 西 暦 | 事 項 |
|---------------------------------|---|
| 平成27年 6月 | 「健幸都市」を宣言 |
| 平成28年 4月 10月 11月 | 「恵那市第2次総合計画」、「恵那市第3次行財政改革大綱」が始まる 新市立恵那病院が竣工 初代市長の可知義明氏が退任、新市長に小坂喬峰氏が就任 |
| 平成29年 4月 8月 10月 11月 | 市立恵那病院に産婦人科が開設される 「恵那くらしビジネスサポートセンター」がオープン 市内全ての小学校にタブレット端末を配備 女性ラリー「L1RALLY in 恵那」を初開催 |
| 平成30年 4月 5月 9月 10月 | 中野方救急分遣所が開設 連続テレビ小説「半分、青い。」と関連事業で脚光を浴びる（～9月） 武並小学校の防災活動が内閣総理大臣賞を受賞 瑞浪恵那道路恵那工区的全線事業化、中心杭打ち式を挙行 |
| 平成31年 3月 4月 | 二葉こども園と長島こども園が閉園 おさしま二葉こども園が開園 |
| 令和元年 9月 10月 | 笠置峡ポートカヌー場がポーランド共和国の東京オリンピック事前キャンプ地に決定 「市制15周年記念式典」を開催 |
| 令和2年 1月 4月 10月 | 「麒麟がくる ぎふ恵那 大河ドラマ館」が開館 地域商社「一般社団法人ジバスクラム恵那」を設立 恵那中央出張所「えなえーる」オープン 「恵那峡ビジターセンター」がオープン ギガスクール構想に基づくICTを活用した新しい学びがスタート |

20 沿革

| 西 暦 | 事 項 |
|------|---|
| 令和3年 | |
| 3月 | 「第76回国民体育大会（ぎふクリスタル国体2021）」が開催される |
| 5月 | 地域新電力会社「恵那電力（株）」を設立 |
| 8月 | ポーランド共和国カヌー連盟が笠置峡などで東京オリンピックの事前合宿を実施 |
| 10月 | 「東濃5市消防指令業務の協議に関する覚書」を締結 |
| 令和4年 | |
| 3月 | 「ゼロカーボンシティえな」を宣言 |
| 4月 | 「Hoko.Glamping」がオープン |
| 5月 | 「SDGs未来都市」、「自治体SDGSモデル事業」に選定される |
| 6月 | リニア中央新幹線長島トンネルの掘削工事が始まる |
| 10月 | 「全国山城サミット」を開催 |
| 11月 | 「フォーラムエイト ラリージャパン2022」が開催される 「子ども嚶鳴フォーラムin恵那」を開催 |
| 令和5年 | |
| 4月 | 「ICT教育らぼ」がオープン |
| 5月 | 「恵那南地区統合中学校準備委員会」を設立 |
| 6月 | 中央公園がリニューアルオープン 「恵那岩村の山城・城下町と農村風景めぐり」が「NEXT GIFU HERITAGE」に認定される |
| 7月 | 「恵那未来キャンパス」がオープン |
| 11月 | 「フォーラムエイト ラリージャパン2023」が開催される 「第13回全国発酵食品サミットinえな」を開催 |

4) 藩政から現在まで

